### 実施計画・事務事業評価共通調書 記入日 平成26年3月31日 【PLAN】事務事業の計画 市民生活部環境保全課 所属部課名 評価区分 事務事業性質 政策的事業 所管省庁 後期基本計画 助 事務事業名 重点視点 環境基本計画推進事業 重要事務事業 市単独 評価事業 単 総合計画実施計画 $\bigcirc$ 健康都市づくり 独 新規·継続 4 自然と共生した安全でやさしさのあるまちづくり〔生活環境〕 政策 継続 政 総 区 補助率 小政策 3 自然環境にやさしい循環型社会をつくります 開始年度 終了年度 策 合 計 体 施策 環境保全•公害防止 期 平成20年度 平成29年度 共催者•関係団体 画 系 小施策 自然環境の保全 1 間 会計 款 細目名 関連計画 笠間市環境基本計画 項 目 算 衛生費 保健衛生費 環境衛生費 環境基本計画推進事業 根拠法令 一般 科 実施手法 補助金の有無 負担金の有無 目 直営 【事務事業の全体概要及び背景】2【H25事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】 3【年度目標】 4【事業費の内容(決算額)】 重点13事業を中 環境に関する基本理念を実現するため, 重点事業を中心に環境目標の達成に向け, 各課等がそれ 報償費 50,000円 将来に向って良好な環境形成に関する ぞれの施策を推進する。 心に施策を展開 需用費 111,444円 取組を総合的かつ計画的に推進する。 する 委託料 150,000円 使用料 15,000円 原材料費 50,000円 H26事業計画 H27事業計画 H28事業計画 重点事業を中心に環境目標の 重点事業を中心に環境目標の達成 重点事業を中心に環境目標の達成 達成に向け, 各課等がそれぞ に向け, 各課等がそれぞれの施策を に向け、各課等がそれぞれの施策を 推進する。 推進する。 れの施策を推進する。 事務事業の目的と手段 単位 (4) 般市民 ①対象 般市民 対象 (働きかける相手・もの) 目 指標 的 市民・事業者及び市が連携し、地域の豊かな自然を (5) 施策数 施策 ②事務事業の意図(どのようにしたい 後世に継承するとともに, 快適で住みよい環境づくり 成果 のか。どういう状態にしたいのか) を推進する 指標 実施事業数 事業 (6) 環境基本計画に沿って,自然再生事業,エコオフィス ③目的を達成するために実際に 活動 段 推進事業など重点13事業を中心に施策を展開 行った行政活動(サービス) 指標 【DO】事務事業の実施 事業費及び指標の推移 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(計画) | 27年度(計画) | 28年度(計画) 事業費 千円 国庫支出金 財 県支出金 千円 源 事 地方債 千円 内 業 コ その他 千円 訳 費 ス 一般財源 千円 557 373 376 523 523 441 523 千円 523 事業費計(ア) 373 376 523 523 557 441 イ 0.70 職員割合 千円 0.91 6,825 0.70 5,250 5,250 0.600 4,500 0.600 **4,500** 0.600 4,500 0.600 4,500 時間外 千円 件 千円 嘱託臨時 ッ 費 千円 他課の協力分 人件費計(イ) 千円 4,500 6.825 5,250 5,250 4,500 4.500 4.500トータルコスト(ア)+(イ) 千円 7,382 5,623 5,69 4,876 5,023 5,023 5,023 指標区分 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(目標) 27年度(目標) 28年度(目標) 事業 実施事業数 255 255 255 255 255 255 255 活

動指標対

象指標成

果指

般市民

施策数

人

施策

79,409

172

78,862

172

78,279

172

77,723

172

77,723

172

77,723

172

77,723

社会情勢の変化・市民ニーズの把握								
事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び	社会環境の変化(開始時期又は5年前との	比較)・市民からの意見や要望》						
【CHECK】事務事業の一次評価								
		?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》						
女   M	生《目的(対象と意図)は総合計画と結びつ 	†象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》						
☑ 適切である   Ⅲ □ 見直しの余地がある	平成29年度までの笠間市の環境 を実施していくことから必要性は高	面において基本となるものであり、この計画に沿って事業 らい。						
③成果の向上余地《成果は, 昨年度と比べ	てどうであったか?工夫をすることで今後,	更なる成果向上ができるか?》						
有効 (4成果の波及効果《全市民, または多くの市性) 性 河 向上の余地がない	「民や他の施策への波及効果があるか?》							
	各課が計画に沿ってそれぞれの事	【業を宇施】 成里をあげている						
価 □ 向上の余地がある		水が日  四代日日   プラスト   ファイン・ストー   大木   できまり   ストー   できます   できまます   できまます   できまます   できまます   できます   できます   できます   できます   できます   できます   できます   でき						
⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに	事業費を削減できないか?(仕様や工法の	見直し,市民の協力など)》						
	件費を削減できないか?(業務プロセスの見)	直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》						
性 図 削減の余地がない	必要な予算の中で事業を行ってい	公要な予算の中で事業を行っていくことから削減の余地は無い。						
一次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)	全体総括(振り返り, 反省点)						
必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地:	がある							
有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地:	がある 環境に関する基本理念を実現する	るため、必要な施策であり計画的に推進する。						
効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地:	がある							
【ACTION】事務事業の改革・改善	フォローアップ 前年度の課題や問題点							
①改革・改善案	③前年度の改革・改善案	⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響の方無しるの対策						
		の有無とその対策						
		☑ 影響は大きく,問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる						
		⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)						
		□ □ 他に手段がない						
のみせ, み羊安な宝田ナストで古眼ナスぐ								
②改革・改善案を実現する上で克服するべき課題と解決方法	<ul><li>④取組状況</li></ul>	□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)						
	④取組状況	□ 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称						
	④取組状況	□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)						
	④取組状況	□ 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる						
	④取組状況	□ 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる						
	④取組状況	□ 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる						

TLAN 尹扬尹未	· / 川 四		
総合評価	今後の方向性		評価理由 環境に関する基本理念を実現するために必要な事業であり、継続して 進める。
松口 日刊川	資源配分	現 状 維 持	

			務事業評	個共	一进列	可音									記入			5年3月31日	
[PI	LAN	】事務事業	ぎの計画		事	務事業者	番号	2			₹ <del>7/17 - 11 - 11 - 11 - 11 - 11 - 11 - 11 </del>	Fe Fe	-L-/ <del>3/-</del> -L	<i>-</i>	所属部			部環境保全課	
	由▽▽	文事 坐 々	白外一之。	, A-19	<b>江</b> 田!	╫ <del>┌</del> ┺~	Ł	評価区	.分		務事業性		文策的事業	<b>€</b> €	後期基本計 重点視点		,	<b>听管省庁</b>	
	争彦	务事業名	自然エネル	ノキー)	古用」	刃戍 争 弟	₹	評価事	業		要事務事		0	<i>l</i> 7:=	単点税 原都市へ	14	国補助	国土交通省	
4A	76	政策	4 自然と共生	生したな	: 4で.	かわっての	なるまた、	べんり「仕げ	福倍〕		新規·継続		 継続	烶	家和巾*	独			
総合	政策	小政策						つくります		事	開始年月		終了年度			区分	補助率	50/100	
計	体	施策	1 環境保	-			ETLE C	フヘソムリ		業						//			
画		小施策	1 自然環			<u> </u>				期間	平成22年	度	平成27年度	ま 井	は催者・関	係団体			
	4 7/42/14 E E 7/11/18/24 F					 項					細目名		関連計画	华	2間市環境	意基本意	上画		
	章 一般 衛生費					衛生費	環境		自然		レギー活用助成	事業	根拠法令		211011111111	иш. г	<u>' —                                     </u>		
	斗	701											実施手	去	補助	金の有	無   負	負担金の有無	
E													直営			0		_	
1	事	務事業の会	全体概要及び	が背景	] 2	【H25事	業計画	(主に担当	者が	行う	業務内容及	をび手川	頁)】3【4	年度	目標】	4 【事	業費の	内容(決算額)	
			基づき, 環境			宅用太陽	易光発電	重システム	设置	費補」	助		太陽件	光発	電 250	太陽光	発電 4	14,257千円	
を図推え	図り, 佳す	環境にや ることで,i	さしいまちづ 市民の健康で こ寄与する。	くりを				<b>業計画</b> システム	設置賓		住宅用太陽補助	H27事 易光発	<b>季業計画</b>	設置	子費	F	-128事業	計画	
5	車型	5事業の目	的レモ邸		LIH1.	<i></i> 93					ш <i>ч</i> )							単位	
J			りて十段									<b>(4)</b>	太陽光系	>雪-	子管好			<u> </u>	
		対象	· - · - ·			股市民						対象		11电	<u>,异锅</u>			一 十円	
目	(働	きかける相	手・もの)		,							指標							
的	ூ	自致重要の	意図(どのよう)	アーナー	八百八	<b>炔</b> ァラル	ギーの≠	で が 利田ナ.5	সাম দা	14%	脛ルし四	(5)	太陽光記	设置作	牛数	件			
			息凶(とのよう) 犬態にしたいの						効利用を図り,地球温暖化と環 りを推進する。			成果							
手					l}-r	主宅用太陽光発電システム設置者に対し、設置費の						指標 ⑥ 太陽光発電補助件数					件		
FIL			えするために 動(サービス			部を補助	<b>プロプロ 电</b> •	· / / 山東區		.7.1 U;	,此但貝♡	活動 指標							
D	0]=	事務事業の	実施																
		及び指標																	
		事業費		単	位	22年度	(実績)	23年度(	実績)	24年	F度(実績)	25年月	度(実績) 2	26年	变(計画)	27年度	(計画)	28年度(計画)	
			<del>-</del> 庫支出金	千		1/2	7,497		3,297	_1	14,130		21,500	/.	20,000		20,000	1 /A (H PI)	
			<u> </u>	千			1,101	10	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		11,100	1	21,000		20,000		20,000		
投	事	/祖 / / / / / / / / / / / / / / / / / /										<b>.</b>							
入っ	業	内	地方債	千								<b>.</b>					0.0		
コス	業費	訳	その他	千			10,336	12	2,737		22,946		22,757		20,200		20,200		
^ ١			一般財源	千	円														
$\overline{}$		事業犯	費計(ア)	千	円		17,833	26	5,034		37,076		44,257		40,200		40,200	0	
イ		職員	員割合	人	千円	0.65	4,875	0.75	5,625	0.0	80 6,000	0.600	4,500	0.600	4,500	0.600	4,500	0	
ンプ	Į.		· :間外	千															
プッ	件		<u> </u>	千															
ツ ト	費		<u>に臨時</u> の協力分	千								-							
<u> </u>	~						4.055		- 00=		0.000		4.500				4.500	20	
			費計(イ)	千			4,875		5,625		6,000		4,500	4,500				0	
	<b>}</b> -	ータルコスト	ヽ(ア) + (イ)	千			22,708		1,659		43,076		48,757		44,700		44,700	0	
		指標区	分	単	位	22年度	(実績)	23年度(	実績)	24年	F度(実績)	25年月	度(実績) 2	26年	度(目標)	27年度	(目標)	28年度(目標)	
活	太阳	易光発電補	甫助件数	14	‡		49		88		132		250		200		200		
西動							131		119		107		1						
指																			
標												<del> </del>							
		日小公会	乙宫炉	7	П		0.070	10	1 20 4		20.050	-	E0 000		40.000		40.000		
対象	不	易光発電う	了昇領	千	円		9,973		9,394		30,656		50,200		40,200		40,200		
象指							7,860	7	7,200		6,420								
標																			
成日	太	易光設置作	牛数	<u> </u>	‡		49		88		132		261	_	200		200		
果指							131		119		107						_		
垣標																			
1/12																		1	

ネ┼╌	会情勢の変化・市民ニーズの把握												
		竟の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》											
東	日本大震災の影響により,自然エネルギーに関する市	民の関心は高く要望がある。											
(C	HECK】事務事業の一次評価												
27	①行政関与の必要性《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》												
要	必 要 ②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか・												
必要性評	■ 適切である												
評価		環境基本計画の自然エネルギーの有効利用に対応した太陽光発電の有効利用を図っている。											
ППП	□ 見直しの余地がある												
	③成果の向上余地《成果は,昨年度と比べてどうであったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》												
有効性評	④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他の	の施策への波及効果があるか?》											
性	☑ 向上の余地がない												
評価	日日上の大学品ができて	一般住宅への普及促進,市民の環境意識の向上を図ることが出来た。											
ІЩ	□ 向上の余地がある												
	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を	- 削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》											
効率	⑥人件費の削減余地《活動量を下げずに人件費を削	減できないか?(業務プロセスの見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》											
生	☑ 削減の余地がない												
評	日内域(ク末地がなく・	補助額は補助金交付要綱で定めているものであり財源として国の交付金を充当しているこ											
価	□ 削減の余地がある	とから効率性は高い。											
—}	y評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)											
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある												
	有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	市民要望も高く,事業を継続して推進する。											
	効率性 / 適切  見直しの余地がある												

【ACTION】事務事業の改革・改善	フォローアップ 前年度の課題や問題点	その他
①改革•改善案	③前年度の改革・改善案	⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策
課題無し	課題なし	□ 影響は大きく,問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる
		⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)
②改革・改善案を実現する上で克服するべ き課題と解決方法		<ul><li>☑ 他に手段がない</li><li>□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)</li></ul>
		名称
		□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している

【PLAN】事務事業	の計画		
総合評価	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 市の重点施策のひとつとして,市民の要望も多く,地球温暖化対策として有効であることから,継続して事業をすすめる。
	資源配分	現 状 維 持	

# 実施計画•事務事業評価共通調書

記入日 平成26年3月31日 所属部課名 市民生活部環境保全課 【PLAN】事務事業の計画 評価区分 事務事業性質 義務的事業 後期基本計画 所管省庁 公害防止(騒音, 悪臭,水質汚濁等) 重点視点 助 事務事業名 重要事務事業 に関する事業 評価事業 市単独 単 総合計画実施計画 独 新規・継続 政策 4 自然と共生した安全でやさしさのあるまちづくり [生活環境] 継続 総 卧 区 補助率 小政策 3 自然環境にやさしい循環型社会をつくります 開始年度 終了年度 合 策 業 計 体 施策 1 環境保全・公害防止 期間 単年度繰返し 共催者•関係団体 画 系 小施策 3 環境保全活動の推進 関連計画 会計 細目名 予 衛生費 -般 保健衛生費 環境衛生費 水質浄化対策事業 根拠法令 環境基本法外環境関連法令 算 科 -般 衛生費 保健衛生費 環境衛生費 環境対策事業 実施手法 補助金の有無 負担金の有無 目 部委託 【事務事業の全体概要及び背景】2【H25事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】3【年度目標】 4 【事業費の内容(決算額)】 公害の防止について必要な基本的 ・関係法令に基づく立入検査 •苦情件数 旅費 42,380円 事項の定めにより、公害の防止策の •一般環境測定調査 需用費 251件 24,848円 推進を図り,市民の健康を保護する ・住民からの苦情対応 役務費 44,700円 とともに, 生活環境の保全に寄与す 委託料 2,697,975円 る。 負担金 1,224,000円 H26事業計画 H27事業計画 H28事業計画 同上 同上 同上 5 事務事業の目的と手段 単位 一般市民 測定立入検査(基準適合) (4) <u>人</u>件 ①対象 般市民 対象 (働きかける相手・もの) 目 指標 % 的 (5) 苦情対応件割合 ②事務事業の意図(どのようにした 公害防止に向けた普及啓発、未然防止の促進。 成果 % 立入検査基準適合率 いのか。どういう状態にしたいのか) 指標 件 苦情件数 **(6)** 丰 測定立入検査 件 ③目的を達成するために実際に 公害実態の調査・苦情相談及び処理。 活動 一般環境測定(公共用水域) 事業所立入検査(延数) 件件 段 行った行政活動(サービス) 指標

事	事業費及び指標の推移										
			事業費	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	27年度(計画)	28年度(計画)
			国庫支出金	千円							
投		財	県支出金	千円		421	540	1,796	1,218	1,218	1,218
入	事業	源内	地方債	千円							
コス	業費	訳	その他	千円							
^   }			一般財源	千円	1,833	1,960	3,620	2,237	3,991	3,991	3,991
_			事業費計(ア)	千円	1,833	2,381	4,160	4,033	5,209	5,209	5,209
イン			職員割合	人 千円	0.41 3,075	0.90 <mark>6,750</mark>	0.60 4,500	1.100 <b>8,250</b>	0.600 4,500	0.600 4,500	0.600 4,500
プ	人		時間外	千円							
ッ	件		嘱託臨時	千円							
1	費		他課の協力分	千円							
			人件費計(イ)	千円	3,075	6,750	4,500	8,250		4,500	4,500
	<b>}-</b>	ータノ	レコスト(ア)+(イ)	千円	4,908	9,131	8,660	12,283	9,709	9,709	9,709
			旨標区分	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績) 26年度(目標)		27年度(目標)	28年度(目標)
活		青件		件	388		370	251	370	370	370
動			入検査	件	_	24	23	24	23	23	23
指標			竟測定(公共用水域)	件	-	6	6	6	6	6	6
	事	業所	立入検査(延数)	件	_	40	41	45	45	45	45
対免		投市	. •	人	79,409	78,862	78,279	77,723	77,723	77,723	77,723
象指	測知	定立.	入検査(基準適合)	件	_	23	22	20	23	23	23
標											
成里			応件割合	%	100	100	100		100	100	100
果指	立	入検	査基準適合率	%	-	96	96	83	100	100	100
標											

社会情勢の変化・市民ニーズの把握 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》										
子切 子未 E 极 / E		E/X 0 (LZ / X / 3			秋/ 甲以// ラッ応元(女主//					
【CHECK】事務事		ョけて. 行政の	範囲は行政の役割2	から見て適切か?	?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》					
.Yı.					いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》					
性 図 適切である			市民からの苦情に H23年度から県の材 を行っており、法令	権限委譲を受け、	関係事業所への立入や、公共用水域を含む環境測定					
有効の成果の波及を	余地 《成果は,昨年度 効果《全市民,または多				更なる成果向上ができるか?》					
性 図 向上の余地					観的感覚によるものであり、件数を減少させることは難し がないよう迅速に対応している。					
効					直し, 市民の協力など)》 し, 個々の業務の効率化等, 業務委託や臨時雇用等)》					
率性 ☑ 削減の余 □ 削減の余	地がない	, 10-, 11 月 6 日		が析委託費は、測	定項目等は法令等で決められており、事業費等を削減					
一次評価結果			全体総括(振り返り	, 反省点)						
有効性 🗸	適切 見直し	の余地があるの余地があるの余地がある	義務的事業のため、事業の縮小等は困難である。 苦情についても、個人の主観的であるため成果の向上は難しい。							
【ACTION】事務事	業の改革・改善	フォロ	ーアップ 前年度の	課題や問題点	その他					
①改革・改善案 ②改革・改善案を3 き課題と解決方法	実現する上で克服する		正度の改革・改善案 3 3 3 3 3 7 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8		<ul> <li>⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策</li> <li>☑ 影響は大きく、問題の発生が予想される□ 代替案や対策を採ることで対応できる</li> <li>⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む)</li> <li>☑ 他に手段がない□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)</li> <li>名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる□ 統廃合や連携はできない・既に連携している</li> </ul>					
【PLAN】事務事業(	の計画									
	今後の方向性	現行と	ごおり継続	義務的事業であ	評価理由 り、現行を維持する。					
総合評価	資源配分	現場	大 維 持							

天	ルロ	一回。	<del>事</del> 務事業評	川犬ス	田剛	一									記	入日		平成26		
[PI	LAN	】事務事	事業の計画		事務	8事業都	昏号	4							所属	部語	果名 市			危保全課
		6- H- NII. 1	. 飼い犬登録	录.狂犬»	病予[	<b>防事業</b>		評価	区分		多事業性		義務的事	<b>事業</b>	後期基本			F	<b>听管省</b>	ì庁— <u>—</u>
	事	务事業名	動物愛護事		ra a n	))		評価事	丰業		要事務事				重点	児点	、	市単独		
		-p1. Jon			^~·	nd-1	ナッコール				計画実施		- √.   √.   .   .   .   .   .   .   .   .				独			
総	政	政第									規・継続		継続				区	補助率		
合	策						世社会を	つくります	Γ	事業	開始年	艾	終了年	度			分	/ .		
計画	体系									期	不明	肖	4年度繰	返し	共催者	• 関	係団体			
画		小施		全活期(			ı		_	間			目目/中三	<del>.ш.;</del>		174711				
	予	会計			項 目 目						目名	中米	関連計		太下亭.	₹.17+	⊢.>+-			
	章 斗	一般	衛生費	17	大使保	灯生質	坂 塚	見解生質	块.	見解生	費標準的	争来	根拠法		狂犬病-			int.	4 <del>1</del> 11 🛆	の左無
	97 }					実施手法							11	助公	金の有類	<b>無</b> 多	1担金	の有無		
		数 車 类,	 の全体概要及て	<b>%</b>	2	1105車	<b>坐</b> 計画	(十)ヶ扣)	上土ぶ	行る業		ムッドエー			度目標】		1 【重	要専の1	カ宏化	央算額)
			に基づく飼い犬		_	N大の智		(土に生	11日 //-	117末	:伤円谷か	又()(十)			予防接利 予防接利			来負 ッパ 319,0		人异识儿
			在大病予防注射					注射の実施	析					実施	1 197194	±.	四/11月	515,0	0011	
務。		1 1 1 1 1 7	327 (/11 1 /27 122)	11.5420			- 向上の							<i>)</i> \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \						
1550					1		, ,	L / L												
								₩31 <del></del>					H- 2116-2-1					* o o <del>-   -</del> 2  4		
					合ヨュ	・犬の登		業計画				H27-	事業計画	[			F	128事業	計画	
								注射の実施	ti:											
							の乗って -向上の		TU.											
					Tr.1. Fo	e · )	1-1-1-0	/ G / L												
5	車系	タ車 坐の	目的と手段		<u> </u>															単位
5			万円で丁枚									4	大登銀	是丽墨	Tr					頭
		対象	(lu = 1 ~)		一般	市民						対象		小兴安						<u> </u>
目	(惻	さかける	ら相手・もの)									指標								
的	<u></u>	主致主类	の意図(どのよう)	アレをい	江十	- 定子は	注ルすい	づく飼い犬	の登録	. 75.7 ド 白	三1回の子	5		対予り かんしゅう	方接種頭	数				頭
			う状態にしたいの					った。飼養				成果								
				,	1,775	(120)	., 5000	, , , , , , , , , ,		. , ,		指標		14	- L+ 46 = 1	2007				<i>⇒x</i> :
手					Æ∃t v	ナカギ	a xr +	··宁之/吐生	△沿€	- TL ッドコ	出れな)テ	6		<b>万</b> 十岁	方接種頭	数				頭
段			を成するために					:病予防集 のための〕				活動								
*~	行.	った行政	な活動(サービス	.)	0.01	指標														
(D	Ol:	事務事業	美の実施																	
			標の推移																	
7.	/C 54		<b></b> 業費	単位	4	22年度	(宝縖)	23年度(	宝结)	9.4年	在(宝结)	95年1	度(実績)	) 26 <i>左</i>	F度(計画	<del>ші</del> /	27年度	(計画)	90年	度(計画)
	1					22十尺	(大順)	23千及(	大限	244)	文(大順)	204/	文(大帜)	201	户(文(日)	븨/	21 中皮	(川四/	2047)	文(可四/
			国庫支出金	千円																
投		財源	県支出金	千円																
投 入	事業	你   一	地方債	千円	9							1				ſ				
コ	来 弗	訳	その他	千円	9															
ス	貝	.,,	一般財源	千円			272		299		382	Ī	319	9	3	24		324		324
1		事	業費計(ア)	千円			272		299		382		319	_		24		324		324
7			来負 印 ( / ) 職員割合			1 17		0.72		0.75				_			0.400	3,000	0.400	
ン		,			-円	1.17	8,775	0.73	5,475	0.75	5,625	0.400	3,000	0.4	υυ <mark>3,0</mark>	UU	0.400	3,000	0.400	3,000
プ	人		時間外	千円								1								
ツ	件		属託臨時	千円																
7	費	他	課の協力分	千円	9															
$\smile$		人	件費計(イ)	千円	9		8,775		5,475		5,625		3,000	)	3,0	00		3,000		3,000
	ト-		スト(ア) + (イ)	千円			9,047		5,774		6,007		3,319	_	3,3	_		3,324		3,324
	L'		区分	単位		22年度		23年度(		9/年			度(実績)		F度(目标	_	27年度		90年	度(目標)
	Χ···		-			44十尺				244)				-			41十尺		20千)	
活	壮	八柄十	方接種頭数	頭			4,154		4,372		4,280	1	4,15	(	4,6	00		4,600		4,600
動 指																				
指																				
標													<del>-</del>							
対	大	登録頭数	<u> </u>	頭			6,582	1	6,531		6,526		6,46	7	6,4	67		6,467		6,467
象指				75			.,550		,,,,,,		-,520	1	2,10	1	٥,1	-		.,		-,101
指												1		-						
標	, .	h	1.11.22									<b>!</b>		1						
成	狂;	犬病予	方接種頭数	頭			4,154		4,372		4,280		4,15	7	4,6	00		4,600		4,600
果指標														1		_ [				
標																				
								•				_		_						

社会情勢の変化・										
事務事業を取り巻	〈環境《対象や法令根拠	ル及び社会環境	意の変化(開始時期又)	は5年前との比	較)・市民からの意見や要望》					
【CHECK】事務事										
					?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》 いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》					
必 要性 性 図総合計画との 性 図 適切である		/女 コ 止 \\ ロ ト 4	1100000000000000000000000000000000000							
□ 見直しの余			狂犬病予防法に基づ	ゔき行っている	事務であり必要性は高い。					
	余地 《成果は,昨年度 効果《全市民,または多				<b>見なる成果向上ができるか?》</b>					
有   ④成果の波及:   世     回   向上の余地   □   向上の余地   □   向上の余地   □	也がない	V	法律で定められた業績		上の余地は無い。					
					.直し, 市民の協力など)》 にし, 個々の業務の効率化等, 業務委託や臨時雇用等)》					
数 率 性 理 Ⅲ □ 削減の余: Ⅲ □ 削減の余:			必要最低限の経費で	ご実施しており、	削減する余地は無い。					
一次評価結果			全体総括(振り返り、)	反省点)						
必要性    ✓	適切 □ 見直し	の余地がある								
有効性  ☑	適切 □ 見直し	の余地がある	法律で定められた業	務であり,継続	して推進する。					
効率性  ☑	適切 □ 見直し	の余地がある								
【ACTION】事務事	業の改革・改善	フォロー	ーアップ 前年度の課題	題や問題点	その他					
①改革・改善案			度の改革・改善案		⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策					
		課題な	:L		☑ 影響は大きく, 問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる					
					⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動					
					も含む) ☑ 他に手段がない					
②改革・改善案を き課題と解決方法	実現する上で克服する	べ ④取組	1状況		□ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名)					
					名称					
					<ul><li>□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる</li><li>□ 統廃合や連携はできない・既に連携している</li></ul>					
【PLAN】事務事業	の計画									
	今後の方向性	現行と	どおり継続 法	生律で定められ	評価理由 た業務であり、継続して推進する。					
総合評価										

現 状 維 持

資源配分

## 実施計画・事務事業評価共通調書 記入日 平成26年3月31日 【PLAN】事務事業の計画 市民生活部環境保全課 事務事業番号 所属部課名 評価区分 事務事業性質 政策的事業 所管省庁 後期基本計画 環境学習推進事業 助 事務事業名 重点視点 重要事務事業 市民環境活動促進事業 市単独 評価事業 畄 総合計画実施計画 独 新規·継続 4 自然と共生した安全でやさしさのあるまちづくり〔生活環境〕 政策 継続 政 総 区 補助率 小政策 3 自然環境にやさしい循環型社会をつくります 開始年度 終了年度 合 策 計 体 施策 環境保全•公害防止 期 共催者•関係団体 H20 H29 画 系 小施策 3 環境保全活動の推進 間 細目名 関連計画 会計 款 項 目 算 衛生費 保健衛生費 環境衛生費 環境保全促進助成事業 根拠法令 一般 科 実施手法 補助金の有無 負担金の有無 目 直営 【事務事業の全体概要及び背景】2【H25事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】 3【年度目標】 4 【事業費の内容(決算額)】 環境に関する基本理念を実現するた 環境学習イベントの実施、環境フォーラムの開催、市民や事 環境フォーラム参 報償費 496,250円 め,将来に向って,良好な環境形成に 業者の環境保全活動の支援。連携 加者数 500人 需用費 1,242,816円 関する取組を総合的かつ計画的に 役務費 96,500円 推進する。 H26事業計画 H27事業計画 H28事業計画 環境学習イベントの実施, 環境 環境学習イベントの実施, 環境 環境学習イベントの実施,環境 フォーラムの開催,市民や事業者の フォーラムの開催,市民や事業者の フォーラムの開催,市民や事業者 環境保全活動の支援。連携 環境保全活動の支援。連携 の環境保全活動の支援。連携 事務事業の目的と手段 単位 4 般市民 ①対象 対象 般市民 (働きかける相手・もの) 目 指標 的 環境フォーラム参加者数 環境に関する基本理念を実現するため,将来に向っ (5) ②事務事業の意図(どのようにしたい て, 良好な環境形成に関する取組を,総合的かつ計 成果 自然観察会参加者数 人 のか。どういう状態にしたいのか) 画的に推進する。 指標 環境フォーラム参加者数 Y (6) 自然観察会開催数 口 ③目的を達成するために実際に 環境フォーラム, 環境学習イベントの実施 活動 段 行った行政活動(サービス) 指標 【DO】事務事業の実施 事業費及び指標の推移 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(計画) 27年度(計画) 28年度(計画) 事業費 千円 国庫支出金 財 県支出金 千円 源 事 地方債 千円 内 業 コ その他 千円 2,000 2,000 2,000 1,800 訳 費 ス 一般財源 千円 2 35 606 606 606 事業費計(ア) 千円 2,003 2,002 2,004 1,83 606 606 606 イ 0.76 0.700 職員割合 千円 5,700 0.90 6,750 0.92 6,900 0.700 5,250 0.700 **5,250** 0.700 5,250 5,250 時間外 千円 件 千円 嘱託臨時 ッ 費 千円 他課の協力分 人件費計(イ) 千円 5,700 5,250 5,250 5,250 5,250 6.750 6.900 トータルコスト(ア)+(イ) 千円 7,703 8,752 8,904 7,08 5,856 5,856 5,856 指標区分 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(目標) 27年度(目標) 28年度(目標)

環境フォーラム参加者数

環境フォーラム参加者数

自然観察会参加者数

自然観察会開催数

般市民

活

動指標対

象指標成

果

指

人

口

人

人

人

452

79,409

452

73

375

78,862

375

105

4

464

78,279

464

122

388

77,723

388

112

300

77,723

300

120

4

300

77,723

300

120

300

77,723

300

	と情勢の変化・市民ニーズの把握								
事務	务事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境	の変化(開始時期又は5年前との比	(較)・市民からの意見や要望》						
[CI	HECK】事務事業の一次評価								
.iv	①行政関与の必要性《目的達成に向けて, 行政の値	範囲は行政の役割から見て適切か?	?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》						
必要	②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性《目的	(対象と意図)は総合計画と結びつい	いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?)						
性評価	<ul><li>☑ 適切である</li><li>□ 見直しの余地がある</li></ul>		進は環境基本計画の重点事業であり, 笠間市の環境 育むことを目的としていることから必要性は高い。						
	③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比べてどうで	したか?工夫をすることで今後、『	更なる成果向上ができるか?》						
$\pm$	④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他の								
<b>匆性評価</b>	☑ 向上の余地がない	環境フォーラムに多くの市民が参加 出来た。	コすることにより,環境の保全に興味を持ってもらうことが						
	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を	削減できないか?(仕様や工法の見	L直し,市民の協力など)》						
効率	⑥人件費の削減余地《活動量を下げずに人件費を削	減できないか?(業務プロセスの見直	し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》						
性評	□ 削減の余地がない	(財) 白海然会おいなーからの歯貼る							
価	☑ 削減の余地がある	(財)自治総合センターからの補助が平成26年度から打ち切られるため,事業内容の見直しを行い,実施する。							
<b>—</b> ₹	大評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)							
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある								
	有効性 🗹 適切 🗌 見直しの余地がある	(財)自治総合センターからの補助が平成26年度から打ち切られるため,事業内容の見直しを行い,実施する。							
	効率性 □ 適切 ☑ 見直しの余地がある	211V , 天旭 y る。							
		ーアップ 前年度の課題や問題点	その他						
		度の改革・改善案	⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響の有無とその対策						
年月	)自治総合センターからの補助が平成26 度から打ち切られるため,事業内容の見 を行い,実施する。		□ 影響は大きく、問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる						
			■ ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動)						
			も含む)						
<u>⊘</u> 7	女革・改善案を実現する上で克服するべ		☑ 他に手段がない						
	東京で表現りる上で見版りる。 (4)取組	状況 	□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)						
			名称						
			□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している						
<u> </u>									

【PLAN】事務事業	【PLAN】事務事業の計画											
総合評価	今後の方向性	改善し、	,継続	評価理由 (財)自治総合センターからの補助が平成26年度から打ち切られるため,事業内容の見直しを行い,実施する。								
₩Ċ ☐ 6T   Щ	資源配分	縮	小									

## 実施計画・事務事業評価共通調書 記入日 平成26年3月31日 【PLAN】事務事業の計画 市民生活部環境保全課 事務事業番号 所属部課名 評価区分 事務事業性質 義務的事業 所管省庁 後期基本計画 助 事務事業名 重点視点 分別収集事業 重要事務事業 市単独 評価事業 畄 総合計画実施計画 $\bigcirc$ 独 新規·継続 4 自然と共生した安全でやさしさのあるまちづくり [生活環境] 政策 継続 政 総 区 補助率 終了年度 小政策 3 自然環境にやさしい循環型社会をつくります 開始年度 策 合 計 体 施策 2 廃棄物対策 期 単年度繰返し 共催者•関係団体 画 系 小施策 2 循環型社会の推進 間 細目名 関連計画 一般廃棄物実施計画 会計 款 項 目 算 衛生費 清掃費 清掃総務費 清掃総務費標準的事業、廃食用油回収事業 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 一般 根拠法令 清掃費 科 一般 衛生費 塵芥処理費 実施手法 補助金の有無 負担金の有無 目 部委託 【事務事業の全体概要及び背景】2【H25事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】 3【年度目標】 4 【事業費の内容(決算額)】 1日1人あたりのゴ 職員手当等 一般家庭から排出される廃棄物の減 -般廃棄物の収集運搬業務委託 391 883円 需用費等 244.654円 量化と処理。 ・市指定ごみ袋,不燃ごみ処理券,収集コンテナの作成 ミの排出量 452,538,749円 委託料 ・エコフロンティアかさまへ一般廃棄物処理委託 700g 負担金補助及び交付金 274,348,000円 積立金 40,451,583円 H26事業計画 H27事業計画 H28事業計画 同上 同上 同上 事務事業の目的と手段 単位 4 般市民 ①対象 対象 般市民 (働きかける相手・もの) 目 指標 的 (5) 1日1人あたりのゴミの排出量 g ②事務事業の意図(どのようにしたい 住環境の向上と循環型社会の構築を目指す。 成果 のか。どういう状態にしたいのか) 指標 1日1人あたりのゴミの排出量 g (6) 般廃棄物の収集運搬業務委託 ③目的を達成するために実際に 市指定ごみ袋,不燃ごみ処理券,収集コンテナの作成 活動 段 般廃棄物処理手数料の基金積立 行った行政活動(サービス) 指標 【DO】事務事業の実施 事業費及び指標の推移 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(計画) 27年度(計画) 28年度(計画) 事業費 千円 国庫支出金 財 県支出金 千円 源 事 地方債 千円 内 業 コ その他 千円 89,810 106,062 94,681 91,090 98,192 98,192 98,192 訳 費 ス 一般財源 千円 934,943 737,444 668,206 676,884 727,689 727,689 727,689 千円 762,887 事業費計(ア) 1,024,753 843,506 767,974 825,881 825,881 825,881 イ 職員割合 千円 0.99 7,425 1.25 9,375 1.50 11,250 1.450 10,875 1.500 11,250 11,250 1.500 11,250 1.500 時間外 千円 件 千円 嘱託臨時 ッ 費 千円 他課の協力分 人件費計(イ) 千円 11,250 7.4259.375 11,250 10.87 11,250 11,250 トータルコスト(ア)+(イ) 千円 1,032,178 852,881 774,137 778,849 837,131 837,131 837,131 指標区分 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(目標) 27年度(目標) 28年度(目標) 1日1人あたりのゴミの排出量 740 738 711 697 700 700 700 g 活 動 指 標 対 般市民 人 79,409 78,862 78,279 77,723 77,723 77,723 77,723 象 指

成

果指

1日1人あたりのゴミの排出量

708

g

741

711

697

700

700

事	社会情勢の変化・市民ニーズの把握 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》 一般家庭から出る廃棄物ごみの排出量の減少に取り組みについては、分別収集を徹底し減量を図っている。												
[(	CHECK】事務事業の一次評価												
业	①行政関与の必要性《目的達成に向けて、行政の範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》												
要		(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》 											
評	☑ 適切である	一般家庭から排出される廃棄物の収集運搬及び処分を、一般廃棄物処理計画に基づき											
佃	□ 見直しの余地がある	実施している。											
_	③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比べてどうで	あったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》											
有效	④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他の施策への波及効果があるか?》												
性評	☑ 向上の余地がない	  一般家庭から排出される廃棄物については、減量化を図るため、資源物回収等他の事業											
佃	□ 向上の余地がある	展開との連携を今後も継続していく。											
	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を	 削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》											
対率	⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削	減できないか?(業務プロセスの見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》											
性	☑ 削減の余地がない	市民からの廃棄物について、収集運搬及び処分を実施しているが、時勢の影響等もあり、											
一個	□ 削減の余地がある	コストは変動が大きい。そのため、一律的な削減は非常に困難である。											
	次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)											
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	上げ中の日(かんんと)、人口(ハ)											
		義務的事業のため、必要性等は適切である。											
	有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	本事業は、他の事業の改善等により効果が上がることから、他の事業と連携を図ることとする。											
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある												
[ [	【ACTION】事務事業の改革・改善フォローアップ 前年度の課題や問題点 その他												
1	改革·改善案	度の改革・改善案  ⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響の有無とその対策											

【ACTION】事務事業の改革・改善	フォローアップ 前年度の課題や問題点	その他
①改革・改善案	③前年度の改革・改善案	⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響の有無とその対策  ② 影響は大きく,問題の発生が予想される  □ 代替案や対策を採ることで対応できる
		⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む)
②改革・改善案を実現する上で克服するべき課題と解決方法	<ul><li>④取組状況</li></ul>	☑ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称
		□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している

【PLAN】事務事業の計画									
総合評価	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 義務的事業であり、現行を維持する。						
까다 더 타기   Щ	資源配分	現 状 維 持							

			<b>* 伤                                   </b>	叫犬儿	旦 <b>吶音</b> 事務事業者	<b>丞</b> 是	7							ī	記入				年3月 ダ環境	31日 5保全課
			資源物集団	可同性			評価区	分		事業性質		政策的	内事業	後期	基本記	十画	i		<b>听管省</b>	
	事務	务事業名	真你初来D 業	山凹収守	*(CX) 9 公介	刊功争	評価事	業		F 務事		-	_	重	点視点	点	1 国	補助	玉士	:交通省
終	政	政策	4 自然と共生	生した安全	きでやさしさの	あるまち	づくり 〔生活班	環境〕	総合計画新規	□ 夫 旭 ē Ⅰ•継続			う <u></u> 続				ŧ 🕌	. m.l	_	
合	策	小政策	3 自然環	境にやさ	い循環型			,,,,,,		始年月			年度			区 分	計補	助率		5/10
計画	体系	施策 小施策	2 廃棄物 2 循環型		化油				期		单	单年度	繰返し	共催者・関係は			本			
	予	小 他 未 会計	2 / / / / / / / / · · · · · · · · · · ·	任芸の打	<del>匪</del> 項		<u> </u>		間細目	名		関連	計画							
貨	<b></b>	一般	衛生費		清掃費	清排	常総務費	ゴ	ミ減量化		業	根拠	法令							
利 E	斗 ∃												施手法 直営		補助	金の有	<b>「無</b>	負	担金	の有無
		 務事業の	 全体概要及び	が背景】	2 【H25事	業計画	(主に担当	 者が	行う業務	内容及	なび手			度目標	票】	4 4	事業。			
ごみの減量化と再資源化を図るため、市内の市民団体等が行う資源物分別回収に対し、奨励金 ごみの再資源化 を交付 を交付 を交付 を交付 を交付 を 25.6% こまた、市内の各家庭から排出される生ごみの減量化及び再資源化を 図ることを目的として、生ごみ処理容 器購入補助金を交付する。														<b>†金</b>						
							等が行う資 励金を交付		分をに	i同じ					左	に同じ				
5	事務	事業の	目的と手段																	単位
		対象	41.T . J . D.)		一般市民						④ 対象		股市民							人
目	(働	きかけるね	相手・もの)								指標	į		<u></u>						
的			意図(どのよう)				上、不法投棄	物の	撤去によ	る清潔	⑤ 成果		チの再覧 原物分別			% 団体				
	のカ	3. どういう	状態にしたいの	(ינלנ)	な自然環境	を目指す	0				指標	資泡	原物分別	引回収	量	E411				t %
手段			成するために 舌動(サービス	天际に	ポイ捨て禁止看板、不法投棄看板等の購入。不法投 棄物の収集運搬業務。不法投棄家電処分業務。 指標 <u>資源物分別回収参加団体</u> 資源物分別回収量									団体						
[D		事務事業		,							1 1 1 1 1									
		及び指標																		
		事業	費	単位	22年度	(実績)	23年度(実績) 24年度			(実績)	25年度(実績)			26年度(計画) 27			变(言	十画)	28年	度(計画)
			庫支出金	千円		261		236												
投	丰	財源——	県支出金	千円																
入コ	事業費	内	地方債	千円			_													
コス	費	訳	その他	千円		5,717	5	,567		5,749		5,	786		6,350		6	,350		6,350
$\vdash$			一般財源 :費計(ア)	千円		5,978	5	,803		5,809		5,786		6,35		50		,350		6,350
7			負 目 ( / ) : 員割合	人		5,325		,450	0.41	3,075		_	375 0.4			0.410	_		0.410	
ン	ı		寺間外	千円		0,020	0.10	, 100	0.11	0,010	0.100	, 0,	0.	110	0,010	0.110	, 0	,010	0.110	, 0,010
プッ	件		託臨時	千円																
ĥ	費		 の協力分	千円																
$\overline{}$		人件	:費計(イ)	千円		5,325	3	,450		3,075		3,	375		3,075		3	,075		3,075
	<b>}-</b>	ータルコス	ト(ア)+(イ)	千円		11,303	9	,253		8,884		9,	161		9,425		9	,425	9,425	
		指標区	区分	単位	22年度	(実績)	23年度(実	(績)	24年度	(実績)	25年	度(実	績) 26	年度(	目標)	27年月	隻(目	]標)	28年	度(目標)
活	Ξð	ケの再資液	原化率	%		22.0		22.1		26.1		2	25.6		23.5			24.0		24.5
動			回収参加団体	団体	Š .	121		116		115			116		114			114		114
指標	資泡	原物分別	回収量	t		1,016		992		1,035			985		1,020		1	,030	30 1,040	
	٠	ın. → □		人		70.400	<b>5</b> ~	000		70.050			700		T 500			700		77.500
対 一般市民 象						79,409	78	,862	,	78,279		77,	123	77,723			77	,723		77,723
象指標																				
標成	~n ,	ケの再資液	原化率	%		22		22.1		26.1		9	25.6		23.5			24.0		24.5
<b>从果指</b>			原化学 回収参加団体	団体	ž .	121		116		115			116		114			114		114
指標		原物分別		t		1,016		992		1,035			985		1,020		1	,030		1,040
1/15																				

社会情勢の変化・市民ニーズの把握										
事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境	竟の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望	<u>!</u> 》								
必必入到去了。整人以,也会了英国。至少以此,《日华	範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の宴 J(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境									
要 ②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性《目的性 性 評		市民が自主的に実施する、資源物分別回収については、補助金を交付することにより、より								
③成果の向上余地《成果は、昨年度と比べてどうであったか?工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか?》 ④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか?》										
数性 □ 向上の余地がない □ 向上の余地がある	リサイクル率をアップさせるための施策が必要 (廃食用油の回り	収取組み)								
	削減できないか?(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》  減できないか?(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、	業務委託や臨時雇用等)》								
性 評 ② 削減の余地がない □ 削減の余地がある	資源物分別回収に対する補助金は削減する余地はない。	資源物分別回収に対する補助金は削減する余地はない。								
一次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)									
<ul><li>必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある</li><li>有効性 □ 適切 ☑ 見直しの余地がある</li><li>効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある</li></ul>	市民への補助金交付であり、意識啓発も伴うため、補助自体は率性に対して対策を講じ、新たな回収品目も対象とする検討が油)									
【ACTION】事務事業の改革・改善フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点 その他									
①改革・改善案  レアメタル (携帯電話、デジカメ)の回収量の 更なる増加を目指すため、広報等を実施し た。  ②前年 事業開 徐々に 報啓発		した場合の成果への影響 の発生が予想される らことで対応できる								
②改革・改善案を実現する上で克服するべき課題と解決方法 平成24 め、携者	(⑤類似事業との統廃合・) ・も含む)  □ 他に手段がない □ 他に手段がある(事利 4年10月からレアメタルの回収を始 帯電話、デジカメ等 167 個の回収 た。H25年度は238個回収した。  □ 他の事務事業や活動	連携の可能性(民間活動								

# (PLAN) 事務事業の計画 評価理由 今後の方向性 現行どおり継続 事業としては、市民への補助金は、資源の回収及び市民の意識啓発に必要不可欠である。 資源配分 現 状 維 持

実	施	計画•事涯	务事業評	価共通	預調:	書										記入	В	平成20	6年3月	31 ⊟
[PI	LAN	事務事業	の計画		事務	事業番	号	8								属部				保全課
								評価	区分		事業性質		文策的:	事業		基本言			听管省	·庁
	事務	8事業名	不法投棄隊	方止事業	É			評価	i事業		事務事				重	点視点	助単	市単独		
.6.4\	<b>→1</b> .	71-55	4 白 <del>24</del> 1、44 4	トルキサノ	1-710	+1 +0.	ナフナナ			総合計				Ŀ			独			
総合	政策	->->10	4 自然と共生 3 自然環								見・継続 開始年月		継続 終了年度				区 分	補助率	1	
計					<u></u>	四水土	LAZ	2174	. 7	業	m / L T / D									
	系		3 不法投		Ŀ.					期間		単	年度終	染返し	共催	者・関	係団体			
=	予	会計	款		項			目		細目	1名		関連計	一画						
	<b>章</b>	一般	衛生費		清掃	費	清排	昂総務費	すず	ミ減量化	/推進事	業	根拠法					<b>バ清掃</b> に		
	〕 ■													手法		補助	金の有	無 1	負担金	の有無
		 務事業の全	休畑亜及っ	Kar 로 🌡	0 [1	LIOE車:	₩⇒1.亩;	( <del>)</del> / ナ / ナ	 1当者が	/字3 光型	オカタガ	アドエ川		委託	度目標	E 1	<u> </u>	光弗の	- 内宏()	- 央算額) <b>】</b>
		労争業の主 及び関係機							投棄防						度 日 倍 棄 処 耳		共済費		<u>,311円</u>	
		法投棄を防									1 1 1	`		85件		1.90	賃金		,484円	
		により公衆		と生活	•不治	去投棄	家電処	分業務										<b>∤</b> 5,237		
環境	竟の	保全を図る	0																	
l					į		H26事	業計画			,	H27事	業計画	画				H28事業	計画	
					同上					同_	Ŀ.					同.	Ŀ.			
5	事衫	8事業の目的	りと手段										ńД	士足						単位
		付象	- , ,		一般	市民						④ 対象	対象							人
目	(働	きかける相手	手・もの)		724	.,						指標								
的	(2) <sub>3</sub>	事務事業の意	・図(どのよう)	こしたい	不法:	投棄の	未然防口	ト. 不法:	投棄物の	撤去によ	とる清潔	5	不法	投棄如	の理数 しゅうしん かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい					件
		ゝ。どういう状!			な自然	然環境	を目指す	0	12/1/10/10	111/2/100	A D I II W	成果 指標								
													不法	投棄如	の理数 しゅうしん しゅうしん しゅうしん しんしん しんしん しんしん しんしん し				_	件
手	<u></u>	目的を達成 <sup>っ</sup>	ナスたみにな	宇 (欧) テ	ポイ指	舎て禁止	二看板、	不法投到	<b>美看板等</b>	の購入。	不法投	⑥ 活動	1 12	1////	C+11.9X					
段	(回) 行/	ョnを達成 った行政活動	りるにめにう 動(サービス	天际に	棄物	の収集	軍搬業發	务。不法	投棄家電	処分業績	务。	指標								
				,								111011								
_		事務事業の 及び指標の																		
事 🤃	未其	事業費		単位		00左座	(中体)	ᅃᄹᄨ	:(安结)	24年度(実績)		25年度(実		E) 000	26年度(計		07/7: #	c (∌l.a <del>c</del> )	00/T:1	<b>広</b> (きしま)
						22年度	(実績)	23年度	(夫領)	24年度	(夫領)	25年度	人夫旗	() 263	平及(記	計画)	27年度	度(計画)	28年)	度(計画)
			支出金	千円			0.000		0.550		0.554			_						
投	車	酒	支出金	千円			2,393		2,558		2,774									
入一	業	内	也方債	千円																
コス	費	H/ \	の他	千円			5,060		5,060		5,323		10,11	10		9,743		9,743		9,743
<u>۱</u>		<u></u> →	般財源	千円																
$\overline{}$		事業費	計(ア)	千円	]		7,453		7,618		8,097		10,11	10	ć	9,743		9,743		9,743
イ		職員	割合	人	·円	0.86	6,450	0.75	5,625	0.80	6,000	0.750	5,62	2 <mark>5</mark> 0.8	800	5,000	0.800	6,000	0.800	6,000
ンプ	人	時間	引外	千円	]	•														
ッツ	件	嘱託	臨時	千円	]															
$\vdash$	費	他課の	協力分	千円	]															
)		人件費	·計(イ)	千円	]		6,450		5,625		6,000		5,62	25	(	5,000		6,000		6,000
	<b>}-</b>	-タルコスト(		千円			13,903		13,243		14,097		15,73	_		5,743		15,743	1	15,743
		指標区分		単位		22年度		23年度	(実績)			25年度		_	年度(		15,743 27年度(目標)			度(目標)
	不》			件		12   X	96	20 1 /2	62	2111	38	20   13		38	1 /2 (1	80	21 13	75	-	70
(白 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —							30				30			00		- 00		10		
動指																				
標														-						
							70.400		70.000		70.070		77.50	20		7 500		77 F^^		
対 一般市民 /							79,409		78,862		78,279		77,72	<u>ن</u> خ	77	7,723		77,723		77,723
\$ 指																				
標																				
成田	不治	去投棄処理	数	件			96		62		38		8	38		80		75		70
果指																				
指		標								l				1						

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》

ゴミのポイ捨てや、不要になった家電類を不法投棄する事例が増えている。劇的な減少は望めないため、地道な市民に対する啓発を継続して行うと ともに、改修さs行を実施している。

CHECK	事務事業の	一次評価
CHECK		

ICI	HECK】事務事業の一次評価										
必				また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》 いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》							
必要性評価	<ul><li>☑ 適切である</li><li>□ 見直しの余地がある</li></ul>		臨時職員、シルバー人材センターに	高時職員、シルバー人材センターによる市内沿線のゴミ拾いや、市民への不法投棄防止 「板の配布等を総合計画に基づき実施している。							
有効	③成果の向上余地《成果は、昨年度と比べて ④成果の波及効果《全市民、または多くの市民			でなる成果向上ができるか?》							
%性評価	<ul><li>☑ 向上の余地がない</li><li>□ 向上の余地がある</li></ul>		市民との協働による環境美化活動のがある。	D促進やパトロールを実施しており、市民への波及効果							
効率性	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか?(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》										
性評価	☑ 削減の余地がない □ 削減の余地がある		継続して事業を実施する必要がある	ため、委託事業等の経費削減の余地は無い。							
<b>—</b> ₹	欠評価結果		全体総括(振り返り, 反省点)								
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がる 有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がる 効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がる	ある	実施した事業が、ダイレクトに跳ね返ってくる事業ではないため、地道に事務事業を継続し ていく必要がある。								
[A	CTION】事務事業の改革・改善フ	フォロー	-アップ 前年度の課題や問題点	その他							
() t	改革・改善案		度の改革・改善案	③事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響の有無とその対策  □影響は大きく,問題の発生が予想される □代替案や対策を採ることで対応できる  ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む) □他に手段がない □他に手段がある(事務事業名・活動名)  名称 □他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □統廃合や連携はできない・既に連携している							

	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 現事業を継続して実施していく。
総合評価	資源配分	現 状 維 持	

実	施	計画	ず・事剤	<b>务事業</b> 評	価共通	重調	書										記入		平成26	た?F	21 🏻
[PI	.AN	事	務事業	の計画		事涯	務事業	番号	9								属部語				月31日 寛保全課
	11 V	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	,,, T /K	- нт н		74	7 F/N	<u> </u>		価区分	事務	事業性	質	義務	的事業			·画 補	j j	<b>听管</b> 律	
	事務	(事)	業名	し尿処理体	制事業				<b>⇒</b> ₹/⊐	i外事業		事務事					重点視点		市単独		
									計៕	沙下尹耒		·画実施									
総	政		政策	4 自然と共生								規·継続						<u></u> 独区			
	合 策 小政策 3 自然環境にや					きしい	↑循環型	型社会を	つくり	ます	事業	開始年	度	終了年度				分	, 1111-93 1		
計画	体系		施策	2 廃棄物		~ J.A.	// .				期間		ĺ	単年月	を繰返し	共催者	≰•関	係団体	Z		
			、施策 会計	1 ごみ処理 款	生体制(		<u>化</u> 頁		目			目名		月月二	計画						
二、 管 手			<sub>云 計</sub> 一般	衛生費			<sup>兵</sup> 帚費	1 =	型 処理	<b>弗</b> 茨t		日 石 <sub>武環境事務</sub>	組合		L 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<b>皮</b> 畜ル	han an kil	1.#田 及 :	び海場に	盟士:	ス注律
禾				衛生費			<u> </u>		処理			衛生組			施手法				<ul><li>型及び清掃に関する</li><li>の有無 ┃ 負担金</li></ul>		の有無
Ē			700	11127		11,33	,,,,		.,	^ /	- 122102	2117	- 11		直営		1114-74		,	()——	
1	事	務事	業の全	:体概要及び	『背景』	2	【H25事	業計画	(主に	担当者が	行う業	務内容及	及び手	順)]	3 【年	F度目標		4 【事	業費の	内容(	決算額)】
				活環境の例						組合及び	筑北璟	境衛生	組合り	こ対	なし			負担金	<b>è</b> 補助及	び交付	寸金
				衆衛生の向		する	る負担金	をの交付	•			166,5	64,000円								
			)連宮・渦 )支出。	維持管理に	対して																
0)	J 1브	並()	/又四。																		
						<u> </u>	ı	H26事	業計画	<u> </u>		1	H27	事業	計画				H28事業	計画	
						同_	Ľ.				同	上					同_	Ľ.			
5	事務	(事)	業の目的	的と手段		ı														単位	
		付象				ń	设市民						4 対象		般市民						人
目	(働	きか	ける相手	手・もの)		71)	ZIIIZ						対								
的	<b>⊘</b> ₹	トマケ・	古米の立	- Waki	-1 J. 1 .								(5)								
				t図(どのよう) 態にしたいの		し尿	し尿の適切な処理により清潔な住環境の整備を図る。 成果 42年														
		0 -	<i>)</i>	20721	,								指標	Ę.							
手						筑北環境衛生組合、茨城地方広域環境事務組合へ (6) 江西															
段	3	目的	を達成す	するために乳	実際に	のケ	}担金支		イスクスコ		マグロマイズ	WT [] .	活動								
	1丁1	<b>ン/こ</b> 1	丁蚁活	動(サービス	.)	指標															
	_		事業の																		
事為	<b></b> 養費	及て	が指標σ	推移																	
			事業費		単位	Ĩ.	22年度	(実績)	23年点	度(実績)	24年月	ま(実績)	25年度(実績)		(績) 26	26年度(計画) 2		27年度(計画		28年	度(計画)
			国庫	<b>重支出金</b>	千円	]															
TH.		財	県	支出金	千円	1															
投入	事	源		也方債	千円							l		-f							
ハコ	業費	内和		<u>:</u> の他	千円								1		- $  -$						
ス	費	訳		- <sup></sup> 般財源	千円			163,682		155 769	-	151 050	1	166	564	100	564		166 E64	$\vdash$	166 E64
1										155,763		151,853		166			,564		166,564		166,564
7			事業費		千円			163,682	0.01	155,763		151,853	4	166			,564		166,564	0.01	166,564
イン				割合	人一千		0.50	3,750	0.31	2,325	0.31	2,325	0.30	$0 \mid 2$	<mark>,250</mark> 0.	.310 2	,325	0.310	2,325	0.310	0 2,325
プ	人			間外	千円								1								
ツ	件典			臨時	千円																
1	費		他課の	協力分	千円	]														<u> </u>	
)			人件費	計(イ)	千円	]		3,750		2,325		2,325		2	,250	2	,325		2,325	5 2,32	
トータルコスト(ア)+(イ) 千								167,432		158,088		154,178		168	,814	168,889			168,889		168,889
指標区分単						<u>r</u>	22年度	〔(実績)	23年月	度(実績)	24年月	ぼ(実績)	25年	度(実	[績] 26	6年度(目	標)	27年月	度(目標)	28年	度(目標)
活 動													1								
指													1		-						
標													1		-						
								70.400		70 060		70 070	1	EE 500		70	270		70 070		70 070
象					人			79,409		78,862	-	78,279	1	77,723			,279		78,279	-	78,279
指標	指												1								
標													1								
成田													1								
果指																				L_ ¯	
標																					

社会情勢の変化・市民ニーズの把握	
	意の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》 衛生の向上のための施設の運営・維持管理に対しての分担金の支出。
【CHECK】事務事業の一次評価	
-	範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
安	J(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》
性 四 適切である	
価 □ 見直しの余地がある	
	たか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》
有効性の波及効果《全市民、または多くの市民や他の	の施策への波及効果があるか?》
□ 向上の余地がない	
価 口 向上の余地がある	
⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を	:削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》
郊 密 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削	川減できないか?(業務プロセスの見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》
性     削減の余地がない	
価 □ 削減の余地がある	
一次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)
必要性 □ 適切 □ 見直しの余地がある	
┃	
効率性 □ 適切 □ 見直しの余地がある	
【ACTION】事務事業の改革・改善フォロー	
	<b>⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響</b>
	の有無とその対策 
	■ □ 影響は大きく,問題の発生が予想される ■ □ 代替案や対策を採ることで対応できる
	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
	も含む)
②改革・改善案を実現する上で克服するべ ④取組	□ 他に手段がない □ 状況 □ 他に手段がある(事務事業名・活動名)
き課題と解決方法	
	名称
	□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している
【DLAN】東攻市光の計画	
【PLAN】事務事業の計画	·····································

【PLAN】事務事業	の計画	
		評価理由
	今後の方向性	
総合評価		
	資源配分	

# 実施計画・事務事業評価共通調書 記入日 平成26年3月31日 【PLAN】事務事業の計画 市民生活部環境保全課 事務事業番号 所属部課名 評価区分 事務事業性質 義務的事業 所管省庁 後期基本計画 助 事務事業名 重要事務事業 重点視点 上下水道諸届出受付事業 市単独 評価外事業 畄 総合計画実施計画 独 新規·継続 政策 4 自然と共生した安全でやさしさのあるまちづくり〔生活環境 継続 政 総 区 補助率 小政策 1 だれにもやさしく、潤いのある生活環境を整えます 開始年度 終了年度 合 策 計 体 施策 上水道 期 単年度繰返し 共催者•関係団体 H18 画 系 小施策 3 水の安定供給 間 会計 款 項 目 細目名 関連計画 算 根拠法令 科 実施手法 補助金の有無 負担金の有無 目 直営 【事務事業の全体概要及び背景】2 【H25事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】 3 【年度目標】 |4 【事業費の内容(決算額)】 市民の利便性向上のため、上下水 上下水道諸届出の受付 道課に代わり上下水道諸届出の受 付事務を行う。 H26事業計画 H27事業計画 H28事業計画 上下水道諸届出の受付 事務事業の目的と手段 単位 4 般市民 ①対象 般市民 対象 (働きかける相手・もの) 目 指標 的 件 (5) 上水道届出件数 ②事務事業の意図(どのようにしたい 市役所で上下水道諸届出等の受付をすることにより、 成果 件 下水道届出件数 のか。どういう状態にしたいのか) 市民の利便性の向上を図る。 指標 上水道届出件数 件 (6) 下水道届出件数 件 ③目的を達成するために実際に 上下水道諸届出等の受付 活動 段 行った行政活動(サービス) 指標 【DO】事務事業の実施 事業費及び指標の推移 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(計画) 27年度(計画) 28年度(計画) 事業費 千円 国庫支出金 財 県支出金 千円 源 事 地方債 千円 内 業 コ その他 千円 訳 費 ス 一般財源 千円 千円 事業費計(ア) イ 職員割合 千円 0.98 7,350 0.96 7,200 1.05 7,875 0.4503,375 0.450**3,375** 0.450 **3,375** 0.450 3,375 時間外 千円 件 千円 嘱託臨時 ッ 費 千円 他課の協力分 人件費計(イ) 千円 7,350 7,200 7,875 3,375 3,375 3,375 3,375 トータルコスト(ア)+(イ) 千円 7,350 7,200 7,87 3,375 3,375 3,375 3,375 指標区分 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度 (実績) 26年度(目標) 27年度(目標) 28年度(目標) 上水道届出件数 件 1,969 2,226 2,200 1,519 2,200 2,200 2,200 活

件

人

件

件

139

79,409

1,969

139

198

78,862

2,226

198

170

78,279

2,200

170

412

77,723

2,200

200

200

77,723

2,200

200

200

77,723

2,200

200

200

77,723

2.200

200

下水道届出件数

上水道届出件数

下水道届出件数

般市民

動指標対

象指標成

果

指

社会情勢の変化・					
事務事業を取り巻	〈環境《対象や法令根拠	L及び社会環境 (ロップラング) (ロップ・ロップ) (ロップ・ロップ) (ロップ・ロップ) (ロップ・ロップ) (ロップ・ロップ) (ロップ・ロップ・ロップ・ロップ・ロップ・ロップ・ロップ・ロップ・ロップ・ロップ・	色の変化(開始時期)	又は5年前との比	(較)・市民からの意見や要望》
【CHECK】事務事	業の一次評価				
.Yi.					?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
要一一一一一		)妥当性《目的	(対象と意図)は総合 	合計画と結びつい	いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?
性評価 □ 適切である					
□ 兄直しの赤					
右	③成果の向上余地《成果は,昨年度と比べてと ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				更なる成果向上ができるか?》
対性 □ 向上の余地		( ) ( ) ( )	- NE/K (X/X/)//	100 00 000 000	
評 □ ハー ハー ハー ハー					
		ずに事業費を	    削減できないか?(	仕様や工法の見	L直し,市民の協力など)》
効 ⑥人件費の削減					[し, 個々の業務の効率化等, 業務委託や臨時雇用等)》
性   削減の余	地がない				
価 □ 削減の余	地がある				
一次評価結果			全体総括(振り返り	, 反省点)	
必要性	適切 見直し	の余地がある			
有効性	適切 見直し	の余地がある			
効率性  □	適切 見直し	の余地がある			
【ACTION】事務事	業の改革・改善	フォロー	ーアップ 前年度の	課題や問題点	その他
①改革•改善案		③前年	度の改革・改善案	⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策	
					   □ 影響は大きく,問題の発生が予想される
					□代替案や対策を採ることで対応できる
					- ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動
					も含む)
②改革・改善案を等き課題と解決方法	実現する上で克服する	<ul><li>④取組</li></ul>	<b>状</b> 況		□ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名)
CHICECITOOTIA					名称
					<ul><li>□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる</li><li>□ 統廃合や連携はできない・既に連携している</li></ul>
					口 が元日、足がはくでないがに足がしくいる
	o il III				
【PLAN】事務事業(					評価理由
総合評価	今後の方向性				
かい口口口川川	資源配分				

# 実施計画・事務事業評価共通調書 記入日 平成26年3月31日 【PLAN】事務事業の計画 市民生活部環境保全課 事務事業番号 所属部課名 評価区分 事務事業性質 政策的事業 所管省庁 後期基本計画 助 事務事業名 重要事務事業 重点視点 有害鳥獣捕獲事業 市単独 評価事業 畄 総合計画実施計画 独 新規·継続 政策 4 自然と共生した安全でやさしさのあるまちづくり〔生活環境〕 継続 政 総 区 補助率 小政策 3 自然環境にやさしい循環型社会をつくります 開始年度 終了年度 策 合 計 体 施策 環境保全•公害防止 笠間市有害鳥獣捕獲 共催者•関係団体 不明 H25 画 系 小施策 3 環境保全活動の推進 隊 間 会計 款 細目名 関連計画 項 目 算 衛生費 保健衛生費 環境衛生費 有害鳥獣捕獲事業 根拠法令 一般 科 実施手法 補助金の有無 負担金の有無 目 直営 【事務事業の全体概要及び背景】2【H25事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】 3【年度目標】 4 【事業費の内容(決算額)】 深刻な状況にある野生鳥獣による農 有害鳥獣捕獲隊による有害鳥獣の捕獲 有害鳥獣捕獲回 報償費 1,303,800円 業被害等に対して被害の軽減を図 数3回 需用費 84,459円 備品購入費 69,467円 る。 H26事業計画 H27事業計画 H28事業計画 事務事業の目的と手段 単位 4 般市民 ①対象 対象 般市民 (働きかける相手・もの) 目 指標 的 イノシシ捕獲数 頭 (5) ②事務事業の意図(どのようにしたい 野生鳥獣による農業被害等に対して被害の軽減を図 ハクビシン捕獲数 成果 匹 のか。どういう状態にしたいのか) カラス捕獲数 指標 羽 有害鳥獣捕獲回数 П (6) ③目的を達成するために実際に 有害鳥獣捕獲隊による有害鳥獣の捕獲を実施した。 活動 段 行った行政活動(サービス) 指標 【DO】事務事業の実施 事業費及び指標の推移 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(計画) 27年度(計画) 28年度(計画) 事業費 千円 国庫支出金 財 県支出金 千円 源 事 地方債 千円 内 業 コ その他 千円 訳 費 ス 一般財源 千円 1,029 1,105 1,370 1,457 1,029 事業費計(ア) 千円 1,105 1,370 1,457 0 0 イ 0.59 職員割合 千円 4,425 0.62 4,650 0.550 4,125 0.000 0.000 0.000 0 0.61 4,575 時間外 千円 件 千円 嘱託臨時 ッ 費 千円 他課の協力分 人件費計(イ) 千円 4,12 4,425 4,650 4,575 0 0 トータルコスト(ア)+(イ) 千円 5,454 5,755 5,94 5,582 単位 指標区分 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(目標) 27年度(目標) 28年度(目標) 口 有害鳥獣捕獲回数 3 3 活 動 指 標 対 般市民 人 79,409 78,862 78,279 77,723

象指標成

果

指

イノシシ捕獲数

カラス捕獲数

ハクビシン捕獲数

頭

兀

羽

31

328

26

4

442

36

29

477

43

14

					.ーズ <i>σ</i> .												
事	務事業	を取	り巻	く環境の	《対象》	や法々	令根拠及	ひざ社	上会環境	色の変化(開始時期又は5年前との.	比較	え)・市民からの意見や要望》					
		1	/ <del>/</del>	2H4	VI . ⇒∓: /¬												
C					·次評価 : 《目f		式に向い	ナて. ?	行政の		·?j	た市民の意向や社会の要請から見て適切か?》					
必要												ているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》					
性評価	☑適			> >           	<b>ふ</b> ス					農作物の被害や生活環境への被 要性は高い。	農作物の被害や生活環境への被害が増大しており,市民からの苦情・要望が多いため必要性は高い。						
						<b>八</b> 时	上午 申レ	H~べ~	てレうで	あったか2丁丰をすることで今後	あったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》						
有効	・										X10	\$ 3 J以来 日上 // ₹ 2 G // ↑ : //					
郊性評価				也がない						猟友会笠間支部の協力のもと有害 ている。	単友会笠間支部の協力のもと有害鳥獣捕獲隊を編成し, 捕獲を実施, 大きな成果をあげている。						
*1	⑤事	<b>業費</b>	の削	減余地	2 《活動	動量を	を下げす	で事	業費を	削減できないか?(仕様や工法の	見直	し,市民の協力など)》					
効率	⑥人作	牛費	の削	咸余地	《活動	力量を	下げずり	こ人件	費を削	減できないか?(業務プロセスの見  	直し	,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》					
性評価	性 ☑ 削減の余地がない									捕獲隊に対する経費は最小限であり削減の余地は無い。							
<b>—</b> }	一次評価結果									全体総括(振り返り, 反省点)							
	必要性	生	<b>✓</b>	適切		見	直しの名	余地か	ぶある								
	有効性	生	<b>✓</b>	適切		見	直しの名	余地か	ぶある	平成26年度から農政課において鳥獣被害対策実施隊として事業を行う。							
	効率性	生	<b>✓</b>	適切		見	直しの名	余地が	ぶる								
[ A	CTION	山車	※車	送の選	女革•改	r 美			フナロ	 −アップ 前年度の課題や問題点 その他							
	改革•3			***	(平以					度の改革・改善案		⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響					
									有害鳥	・受り改革では音楽 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							
												⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む) ☑ 他に手段がない					
_	改革・改				る上で	京服	するべ		④取組	1状況		□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)					
	平成2							6年度から農政課において鳥獣被 実施隊として事業を行う。		名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している							

【PLAN】事務事業の	の計画		
総合評価	今後の方向性	改善し,継続	評価理由 平成26年度から農政課において鳥獣被害対策実施隊として事業を行う。
₩© □ ₽T IIII	資源配分	現 状 維 持	

## 実施計画・事務事業評価共通調書 平成26年3月31日 記入日 【PLAN】事務事業の計画 市民生活部環境保全課 事務事業番号 所属部課名 評価区分 事務事業性質 義務的事業 所管省庁 後期基本計画 助 事務事業名 エコフロンティアかさま対策事業 重要事務事業 重点視点 市単独 評価事業 鼡 総合計画実施計画 独 政策 4 自然と共生した安全でやさしさのあるまちづくり〔生活環境〕 新規・継続 継続 政 総 区 補助率 小政策 3 自然環境にやさしい循環型社会をつくります 開始年度 終了年度 合 策 計 体 施策 2 廃棄物対策 期 平成14年度 単年度繰返し 共催者·関係団体 画 系 小施策 1 ごみ処理体制の強化 間 会計 款 項 目 細目名 関連計画 算 一般 衛生費 清掃費 エコフロンティアかさま対策費 エコフロンティアかさま対策費事業 根拠法令 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 科 一般 衛生費 清掃費 エコフロンティアかさま対策費 福田地区地域振興整備基金積立事業 実施手法 補助金の有無 負担金の有無 目 エコフロンティアかさま対策費 一般 衛生費 清掃費 エコフロンティアかさま対策費事業(臨時 部委託 【事務事業の全体概要及び背景】 2 【H25事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】3 【年度目標】 4 【事業費の内容(決算額)】 報酬 724,500円、職員手当等 242,926円、旅費 365,480円、 エコフロンティアかさまの建設に伴っ ・福田地区地域住民に対する、上水道敷設、浄化槽設置、 なし て地元還元として地域振興事業を行 防犯灯電気代への補助。地域の道路補修等の実施 需用費 194,526円、委託料 ・エコフロンティアかさま監視委員会の実施。 25,641,000円、工事請負費 、地域の環境を監視するため、 31,785,000円、公有財産購入費 月1回の監視委員会を実施する。 11,834,970円、負担金補助及び 交付金 4,978,503円、積立金 H26事業計画 H27事業計画 H28事業計画 同上 同上 同上 事務事業の目的と手段 単位 4 般市民 ①対象 般市民 福田地区世帯 世帯 対象 (働きかける相手・もの) 目 指標 的 コフロンティアかさまの建設に伴って地元還元として地域振興事 % (5) 净化槽補助世帯割合 ②事務事業の意図(どのようにしたい 業を行う 成果 % 上水道補助世帯割合 のか。どういう状態にしたいのか) また、地域の環境を監視するため、月1回の監視委員会を実施す 指標 浄化槽補助世帯 世帯 (6) 補助金等の交付、道路の改修等の実施 上水道補助世帯数 世帯 ③目的を達成するために実際に 活動 段 環境等監視のための監視委員会の実施 行った行政活動(サービス) 指標 【DO】事務事業の実施

中	事業費及び指標の推移																	
争身	長負			>>				. (. [ . (-[:]		. (. 1 . (-)				(21-0)		(21-0)		. (=1 ==:)
			事業費	単位	22年度	(実績)	23年度	〔(実績)	24年度	〔(実績)	25年度	度(実績)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)
			国庫支出金	千円														
投		財源	県支出金	千円														
入	事業	源内	地方債	千円														
コ	事業費	訳	その他	千円		96,155		148,681	1	184,920		210,205	4	30,463	4	30,463	,	430,463
スト	,		一般財源	千円		3,162		4,475		3,565		2,439		7,161		7,161		7,161
			事業費計(ア)	千円		99,317		153,156	1	188,488		212,644	4	37,624	4	37,624		437,624
イ			職員割合	人 千円	0.64	4,800	0.95	7,125	0.95	7,125	1.000	7,500	0.950	7,125	0.950	7,125	0.950	7,125
プ	人		時間外	千円														
ッ	件		嘱託臨時	千円														
7	費 他課の協力分			千円														
)	人件費計(イ)			千円		4,800		7,125		7,125		7,500		7,125		7,125		7,125
	トー	ータバ	レコスト(ア)+(イ)	千円	1	04,117		160,281	]	195,613		220,144	4	44,749	4	44,749		444,749
		扌	旨標区分	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度(実績		25年度(実績)		26年度	(目標)	27年度(目標)		28年度	<b>E</b> (目標)
活	浄イ	匕槽	と槽補助世帯 世帯 94		94		100 102				109		115	120			125	
動	上ス	水道	補助世帯数	世帯		111		117		120		121		132		137		142
指																		
標																		
対	一角	设市	民	人		79,409		78,862		78,279		77,723 78,279		78,279		78,279		78,279
象指	福日	田地	区世帯	世帯		147		147		147		147	7 147			147		147
標																		
成	浄化	匕槽	補助世帯割合	%		64		68		69		74		78		82		85
果 指	上7	水道	補助世帯割合	%		76		80		82		82		90		93		97
標	標																	

社会情勢の変化・市民ニーズの把握							
事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会! 笠間地区のごみ処理を担っているが、市民自己搬入		比較)・市民からの意見や要望》					
【CHECK】事務事業の一次評価							
必 ②※ △ 計画 ) ○ 數 △ 林 (		?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》 いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》					
要 (②総合計画との整合性、対象と息図の安当性 (自性 評価		笠間地区の家庭から排出される廃棄物の収集運搬及び処分を、一般廃棄物処理計画に					
③成果の向上余地《成果は、昨年度と比べてど有 効 ④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や		ったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》 施策への波及効果があるか?》					
性 図 向上の余地がない		笠間地区の家庭から排出される廃棄物については、減量化を図るため、資源物回収等他の事業展開との連携を今後も継続していく。					
⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費 効 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を		見直し,市民の協力など)》 直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》					
性 評 価   削減の余地がない   加減の余地がある	あ	一般家庭からの廃棄物について、収集運搬及び処分を実施しているが、時勢の影響等も あ り、コストは変動が大きい。そのため、一律的な削減は非常に困難である。					
一次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)						
<ul><li>必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある</li><li>有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある</li><li>効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある</li></ul>	る 福田地区振興整備事業に関して、	福田地区振興整備事業に関して、福田地区住民の意見を尊重し整備を進めている。					
【ACTION】事務事業の改革・改善フォ	ローアップ 前年度の課題や問題点	その他					
①改革・改善案	前年度の改革・改善案	⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策					
		□ 影響は大きく, 問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる					
		⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)					
②改革・改善案を実現する上で克服するべ き課題と解決方法	文組状況	□ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名)					
		名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している					
【PLAN】事務事業の計画							
I 以以 Tr/カ尹未V/川 凹		評価理由					

現行どおり継続

現状維持

現事業を継続していく。

今後の方向性

資源配分

総合評価

実	施	計画·事	務事業評	価共通調	<b>周書</b>							記入		ਹਾਂ ⊧₹੭	6年3月3	1 🗆
[PL	.ΑN	】事務事業	の計画	事	務事業番号	13						所属部		市民生活		
	J. 1	11-100-11-01	T PI PI		100 T- 200 T-	評価区分	事務	等業性質	義	務的事	業	後期基本記	計画	補	所管省戶	
	事務	等業名	墓地管理事	事務		評価外事業		事務事業		_		重点視力	点	助 単		
***	.,	~L. /*/*	4 A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	10 + H A ~	deli tat yel			画実施計	画	♦ ANV Act:				独		
総合	政策	政策 小政策			やさしさのあるまち 潤いのある生活!			規・継続 開始年度	3	<b>継続</b> 終了年月	存			区 補助率	3	
	水体	施策	7 斎場・墓		国いっかの土色	<sup>未見て</sup> 置んより	業	用如十尺						分		
画		小施策		適正管理			期間		単	年度繰	返し ま	共催者・関	[係団	体		
う	7	会計	款		項	目		目名		関連計画						
貨									根拠法令			墓地,埋葬等に関する法律 基 ■ 補助金の有無 ■ 負				
乖										実施手		補助	金の	有無	負担金σ	)有無
1		改事光の人	と体概要及び	以北里】。	【H25事業計画	(子)を担いまる	*/二 : 光 ·	次由 宏丑:	7 K T     E	直営		[目標]	4 (	事業費の	中安(沖	佐姤)【
			を部地区に		地経営の適正打		*117未	伤门谷风	り、子順			営の適正	4 1	, 尹未負り	门台(认	异似儿
地区	ヹの		されているほ や点在する小 いる。							指導	尊許可	ij				
i)					口96車	業計画		ī	197重	業計画				H28事第	*計画	
				墓	地経営の適正打		墓	地経営の			ſ	墓	地経行	<u> 1120乗</u> 営の適正打		ſ
5	車級	5事業の目	的レ毛郎													単位
ე .			りて子权						4	墓地数	-					音 箇所
		対象 きかける相	壬,北,(1)	墓	地管理者·所有者	<u>:</u>			対象	納骨堂	:					箇所
Ħ	(19)	さんこの相	子, 600)						指標	火葬場						箇所
的	②事	事務事業の かんしん かいしん かいしん かいしん かいしん かいしん かいしん かいしん	意図(どのよう)	にしたい 墓	地の経営許可には		動向や周	周辺環境	⑤ 成果	許可件	数					件
	のカ	ゝ。どういう状	態にしたいの	か) に	配慮した適切な誘	ら 導を行う。			成未 指標							
									6	相談件	数					件
手段	3	目的を達成	するために	実際に 墓	地経理の適正許可	可			活動							
抆	行~	った行政活	動(サービス	(,)					指標							
_		事務事業の						•		•					<b>'</b>	
事業	<b>美費</b>	及び指標の		1	_	_									1	
		事業費		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度	度(実績) 2	25年度	(実績)	26年	度(計画)	27年	E度(計画)	28年度	(計画)
			車支出金	千円												
投		財児	支出金	千円												
7.		源 内	地方債	千円												
コ	業費	訳	その他	千円												
スト			·般財源	千円												
1		事業費	貴計(ア)	千円	0	(	)	0		0		C	)	C	)	0
イ			割合	人 千円	0	(	0.02	150	0.050	375	0.05	0 375	0.05	50 375	0.050	375
ン	ı		<u> </u>	千円												
プッ	人件			千円												
ト	費			千円												
<u>'</u>	,			千円	0		\	150		275		975		275		275
	1		<b>計(イ)</b>		0	(		150		375		375	+	375		375
	<b>/</b> −		(ア)+(イ)	千円	0	()		150		375		375		375		375
		指標区	分	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度		25年度	(実績)	26年	度(目標)	27年	E度(目標)	28年度	(目標)
活	相詞	炎件数		件				15		12						
動																
指																
標																
対	墓均	也数		箇所				1,212		1,212						
象指				箇所				1		1.			1			
指煙				箇所		<del> </del>		1		1						
標成	I.			件		<del>                                     </del>		3		3						

	市民ニーズの把握										
事務事業を取り巻	〈環境《対象や法令根拠	1及び社会環境	竟の変化(開始時期又は5年前との)	七較)・市民からの意見や要望》							
【CHECK】事務事	業の一次評価										
				?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》							
安	の整合性,対象と意図の	9妥当性《目的	」(対象と意図)は総合計画と結びつ 	いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》							
性 ☑ 適切である											
価 □ 見直しの分											
右			あったか?工夫をすることで今後, の施策への波及効果があるか?》	更なる成果向上ができるか?》							
性 ☑ 向上の余均	也がない										
価 口 向上の余均	也がある										
⑤事業費の削	減余地《活動量を下げ	ずに事業費を	」 :削減できないか?(仕様や工法の!	見直し,市民の協力など)》							
<b>学</b>	咸余地 《活動量を下げ	ずに人件費を削	減できないか?(業務プロセスの見頂	直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》							
性 ☑ 削減の余	地がない										
□ 削減の余	地がある										
一次評価結果			全体総括(振り返り, 反省点)	全体総括(振り返り, 反省点)							
必要性  ✓	適切 □ 見直し	り余地がある									
有効性 🗸	適切 □ 見直し	り余地がある									
効率性  ✓	適切 見直し	の余地がある									
【ACTION】事務事	業の改革・改善	フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点	その他							
①改革•改善案		3前年	度の改革・改善案	⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策							
				┃ ┃ ┃   影纓け大きく 問題の発生が予相される							
				□ 影響は大きく, 問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる							
				□ 影響は大きく, 問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる							
				□ 影響は大きく,問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる							
				□ 代替案や対策を採ることで対応できる							
				<ul><li>□ 代替案や対策を採ることで対応できる</li><li>⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動</li></ul>							
<b>○1.4.</b> 1.4643.	**************************************			□ 代替案や対策を採ることで対応できる ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)							
②改革・改善案を き課題と解決方法	実現する上で克服する・	<ul><li>④取組</li></ul>	1状況	<ul><li>□ 代替案や対策を採ることで対応できる</li><li>⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動</li></ul>							
		<u>、</u> ④取組	1状況	□ 代替案や対策を採ることで対応できる  ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む) □ 他に手段がない							
		<b>④</b> 取組	1状況	□ 代替案や対策を採ることで対応できる  ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む) □ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる							
		(4)取組	1状況	□ 代替案や対策を採ることで対応できる  ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む) □ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称							
		<b>④</b> 取組	1状況	□ 代替案や対策を採ることで対応できる  ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む) □ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる							
		(4)取組	H状況	□ 代替案や対策を採ることで対応できる  ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む) □ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる							
き課題と解決方法		<b>④</b> 取組	1状況	□ 代替案や対策を採ることで対応できる  ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む) □ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる							
	の計画	(4)取組	1状況	□ 代替案や対策を採ることで対応できる  ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む) □ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる							
き課題と解決方法		(4)取組	1状况	□ 代替案や対策を採ることで対応できる  ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む) □ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している							

			務爭業評	個光珠	丑可问	音										記入			年3月3	
[PI	LAN	事務事業	をの計画		事務	<b>塔事業</b>	号	14	N			C. LVI. E-E-			NIZ.	所属部	1115	民生活		
	中公	8事業名	空き家等の	いあて祭	细車	**		評価	区分		事務事業 重要事務		收	策的事	·美	後期基本記 重点視点		)	听管省/ 「	1
	争化	6 争 来 名	全さ多寺り	適正官	理事	未		評価	事業		B安尹符 合計画実		ŧί	0		里尔沉流	<b>単</b>	市単独		
松公	政	政策	4 自然と共生	上た安全	シでや	さしさの	あろまち	づくり「生	- 活環境		新規•糾		ы	新規			独			
松合	政策	小政策		境にやさ						事	開始		ź	冬了年度	ŧ		区分	補助率		
計	体	施策	1 環境保				. 11.27 C	- ()		業		_								
	系	小施策		境の保全		<u>*</u>				— 期 間	平成2	5年度	単	年度繰	越	は催者・関	係団体			
=	予	会計	款	1	- 項	Į		目		1143	細目名			関連計画	亘					
	, 算	一般	衛生費		清掃		清排	掃総務費	<b>a</b> 2	き家の	の適正管	理事		艮拠法令						
禾	斗													実施手	≒法	補助	金の有	無	負担金の	)有無
	1																			
空きとに	き家 こより	等の管理で	全体概要及で 下全な状態を 寛の保全及で 与する。	促すこ	管理	里不全状 5危険空	、態空き 受き家解	家への	行政打 1金の3	導	業務内					[目標]	補助金	業費の  : 1,852	,000円	
i					同上		H26事	業計画			同上	Н	I27事	業計画		同		H28事業	計画	
5	事務	事業の目	的と手段													<u> </u>				単位
	①÷	対象											4	空き家	数					件
		動きかける相手・もの)				一般市民 対象														
目	(129)	MCN (1) 2/11-1 (0/2)										指標	<b>ポンス /中</b>	. Ye/ .					/rl-	
的											ことによ	り,   ,		指導件 解体補		*/r				件件
	のカ						舌環境の保全及び防犯のまちづくりに寄与する。   成末   胖体相切   指標						9万十	奴				117		
														指導件	数					件
手	(3)	目的を達成	するために	主座に	管理不全状態空き家への行政指導						(6) 相等件数 解体補助								件	
段	行	った行政活	動(サービス	.)	老朽危険空き家解体補助金の交付								指標							
15																				
		事務事業の																		
争。	<b></b>	及び指標の		227.1	. 1		(-1-/-)		- / /	\	L. J. / J.	/ <del></del>		/ / \		± /31 ==\	1	. (31)		• / ¬ I ¬ ¬ · · ·
	ı	事業費		単位		22年度	(実績)	23年度	と (実績	) 244	年度(実	績) 2.	5年度	(実績)	26年	度(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)
			車支出金	千円																
		洒	支出金	千円																
	事業	源 内	地方債	千円								_ [			L		L		L	
	業費	訳	その他	千円																
	,,,		般財源	千円										1,852		3,000		3,000		3,000
		事業看	貴計(ア)	千円			0			0		0		1,852		3,000		3,000		3,000
7			割合	人			0			0		0 0	.450	3,375	0.45		0.450		0.450	3,375
	ı		<u>間外</u>	千円									_ 0	,	- 13	2,0.0		,,,,,	-20	,,,,
	件			千円						+		$\dashv$		725		1,740		1,740		1,740
	費		 D協力分	千円						+		-		140		1,140		1,170		1,170
										0		0		4 100		F 445		F 115		F 115
			<b>貴計(イ)</b>	千円			0			0		0		4,100		5,115		5,115		5,115
	  -		(ア)+(イ)	千円			0			0		0		5,952		8,115		8,115		8,115
		指標区	分	単位	-	22年度	(実績)	23年度	と (実績	) 244	年度(実	績) 2	5年度	(実績)	26年度(目標) 27年度(目標) 2		28年度	(目標)		
活		<b>尊件数</b>		件										80		100		100		100
動	解	本補助件数	χ	件				<u> </u>		╧		[		7		10		10		10
指																				
標																				
対	空	き家数		件										4,270		4,270		4,270		4,270
象												1		•						
指揮										+		+								
標成	<b>左</b> 1	里不全解消	57十米6	件						+		-		100		100		100		100
果	B.1	生/下土	日下奴	14						+		-		100		100		100		100
果指										1										
標												1								

実施計画•事務事業評価共通調書

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》

近年増加している空き家には,少子高齢化・所有者の経済悪化・自然災害等さまざまな社会背景が存在しており,このような要因により発生した空き 家が,老朽化・荒廃化することにより,倒壊や犯罪等の危険性など周辺住民の生活環境に悪影響を及ぼす恐れがあります。 空き家が放置されることによる,管理不全状態の防止と解消を促すことにより,生活環境の保全及び防犯の街づくりに寄与する。

ı	CHECK'	事務事業の-	一次評価

$\mathbf{I}_{C}$	HECK】事務事業の一次評価								
必要	①行政関与の必要性《目的達成に向けて,行政の ②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性《目的		?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》 ハているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》						
必要性評価	<ul><li>☑ 適切である</li><li>□ 見直しの余地がある</li></ul>	管理不全状態の空き家は増加傾向	」にあり必要性は高い。						
有	③成果の向上余地《成果は、昨年度と比べてどうで		更なる成果向上ができるか?》						
有効性評	④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他の ☑ 向上の余地がない	り施束への波及効果があるか?》							
評価	□ 向上の余地がある	条例に基づく行政指導のため向上の	条例に基づく行政指導のため向上の余地は無い。						
効率	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削		L直し,市民の協力など)》 こし,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》						
生性評価	<ul><li>☑ 削減の余地がない</li><li>□ 削減の余地がある</li></ul>	補助金のみの経費で行っているたと	<b>事助金のみの経費で行っているため削減の余地は無い。</b>						
—;	次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)							
	必要性       図 適切       見直しの余地がある         有効性       図 適切       見直しの余地がある         効率性       図 適切       見直しの余地がある	上位法の整備がされていない条例なので運用が難しい面もあるが,適切な業務を行ってい る。							
[A	CTION】事務事業の改革・改善フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点	その他						
		度の改革・改善案	⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策						
ませ	らづくり課所管の「空き家バンク」との連携		☑ 影響は大きく, 問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる						
			⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む)						
	改革・改善案を実現する上で克服するべ (④取組 果題と解決方法		□ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名)						
	報の共有化		名称 [7] 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる						
			□ 統廃合や連携はできない・既に連携している						

# 【PLAN】事務事業の計画

			評価理由
総合評価	今後の方向性	現行どおり継続	
炒☆ 口 4十.1M	資源配分	現 状 維 持	上位法の整備がされていない条例なので運用が難しい面もあるが、適切

実	施	計画	頂•事務	务事業評	価共通	重調	書										郭	入日		平成2	3年3	日 21 日	
[PI	.AN	事	務事業の	の計画		事系	务事業番	等号	15									部課		民生活			
Ì			7 7 7 1 7							西区分	事	事務事業性	生質	Ţ			後期基準	本計画	╗┃補		听管		
				消請求訴訟		長伤	美務不許可処分取		評価外事業		重要事務事						重点視点		助 市単				
												<b>計画実施</b>		·画					<b>一</b> 独	1117 - 32			
総	政		1 -	4 自然と共生 3 自然環境							事	新規·継續 開始年		: 4	新規 終了年	莊			区	補助率	Š		
合計	水体			2 廃棄物		<u> </u>	'個界至	仕云で	*J(り)	よ 9	業				於 丁 牛/				分				
画			施策	1 ごみ処理		)強(	<u>'K</u>				期間	平成25	年月	变		1	共催者	•関係	団体				
=	7		会計	款	22,1, 1,1,2	IJ			目		11.14	細目名			関連計画	画							
筝	氧	<b>—</b> ∮	设会計	衛生費		清捐	費	清掃	棉総務雪	費	青掃絲	総務費(臨	時	) 7	恨拠法								
禾															実施		補	助金	の有:	無	負担的	金の有	<b>手無</b>
1		7/2 1	** ~ ^	<b>小</b> 柳		0	LIOE 本:	₩31==	/ <del></del> ) - 1	H 1/2 - 12: 23	/-×	₩ マメヒ ┻ /=	. 77		すべて			-	_ [	光曲の	H /2	—— ()油 松	( 地本 )
				体概要及で 付で水戸地	七出						イ丁フ:	業務内容	火	ひ 手順	() <b>]</b> 3	【牛乃	5日悰』			業費の :委託着			
				曹清掃業務	<del>∡</del> ≑⊬ ਜਾ		月21日ま													.女儿但	-1-7F	01.	4
処分	分取	消請	家事件	として訴え	がおこ		] 28日第 18日第																
り、	その	裁判	引に対す	る経費であ			18日第																
								H26事	業計画	Í				H27事	業計画	:			ŀ	-128事業	(計画	Î	
										こよってに	は、												
						長男	別化する	こともネ	きてられ	しる。													
_	±- ₹/	r <del></del> -	4 A H 4	<b>ム) イ cm</b>																		224	/
5			長の日間	りと手段										4	1							単	1火
		対象	). L マ ユロ -	T 1 D)		不許	F可業者							対象									
目	(惻	きかける相手・もの)				指標																	
的	② <sub>3</sub>	事務事業の意図(どのようにしたい				し尿	し尿・浄化槽清掃業務の許認可についての訴訟であ																
	のカ	٠. F	ういう状態	態にしたいの	カュ)	り、そ	その対応	である。						成果 指標									
													1	6									
手	(3)	目的	を達成っ	するために乳	実際に									活動									
段	行	ったイ	<b>亍政活動</b>	動(サービス	.)									指標	-								
[D	<b>ე</b> ] ≣	[終	事業の領	主施																			
			指標の																				
-	14/1		事業費		単位	ŕ	22年度	(実績)	23年月	度(実績)	24年	F度(実績	i)	25年度	(実績)	26年	E度(計i	<b>画</b> ) 2	7年度	(計画)	28年	三度(	計画)
				<b>三支出金</b>	千円		\	() (//////	10 12	~ () () ()			.,	<u> </u>	() ()	20 1		_,, <u>_</u>	. 1 2	(FI III)		× (F	11 11/
		財		支出金	千円								ı										
投入	事業	源		 也方債	千円								+			1		+					
入コ		内和		- の他	千円								╂			1		-					
ス	費	訳		. <sup>() 71년</sup> 般財源	千円								+		68	2	1,0	100					
1			事業費		千円			0		0			0		68					C			- 0
7								0		0	_		_	0.000		4	1,0	_					0
ン								0		0			U	0.200	1,500			0		C			0
プ	人				千円								4			1-		+					
ツト	件費		嘱託臨時		千円								4			1		$\perp$					
ト ・	貝					千円					0		c	1 500			0				0		
	1					千円		0		0			0	1,500		4	1 000				0 0		
	トータルコスト(ア)+(イ) 千円									0     1,568       F度(実績)     25年度(実績)       26年度(実績)			_	1,000     0       E度(目標) 27年度(目標) 28						0			
		扌	f標区分	<b></b>	単位		22年度	(実績)	23年月	度(実績)	24 <sup>±</sup>	+度(実績	()	25年度	(実績)	26年	- 度 (目	票) 2	7年度	(目標)	28年	度	目標)
活													1			<u> </u>							
動													_			<u> </u>							
指標													1			<u> </u>		$\perp$					
対																							
象 指																							
標																							
成													T						_				
果指													ı					$\top$					
垣標													1					$\top$					

	市民ニーズの把握									
事務事業を取り巻	く環境《対象や法令根拠	1及び社会環境	ぎの変化(開始時期又は5年前とのよ	比較)・市民からの意見や要望》						
【CHECK】事務事	業の一次評価									
①行政関与の				?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》						
必要 ②総合計画との 要性 □ 海切でなる	の整合性,対象と意図の	)妥当性《目的	(対象と意図)は総合計画と結びつ 	いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》						
評   一週切でめる										
価 □ 見直しの弁										
右			あったか?工夫をすることで今後、 の施策への波及効果があるか?》	更なる成果向上ができるか?》						
性 回 向上の余地	也がない									
価 口 向上の余均	也がある									
⑤事業費の削	減余地《活動量を下け	ずに事業費を	」 削減できないか?(仕様や工法のり	見直し,市民の協力など)》						
<b>学</b>	咸余地 《活動量を下げる	ずに人件費を削	減できないか?(業務プロセスの見直	直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》						
性     削減の余:	地がない									
価 □ 削減の余:	地がある									
一次評価結果			全体総括(振り返り, 反省点)							
必要性 □	適切 見直しの	O余地がある								
有効性	適切 見直しの	O余地がある								
効率性 🗌	適切 見直しの	D余地がある								
【ACTION】事務事	業の改革・改善	フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点	その他						
①改革•改善案		③前年	度の改革・改善案	⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策						
				□影響は大きく、問題の発生が予想される						
				□ 代替案や対策を採ることで対応できる						
				⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)						
<b>○14</b> 14 <b>* 4 * . . . . . . . . . .</b>	<b>之</b> 珥.よ71.☆末昭.よ7			<ul><li>⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む)</li><li>□ 他に手段がない</li></ul>						
②改革・改善案を き課題と解決方法	実現する上で克服する~	· ④取組	1状況	も含む)						
		<ul><li>④取組</li></ul>	1状況	も含む) □ 他に手段がない						
		· ④取組	1状況	も含む)  □ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名)  名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる						
		<b>④</b> 取組	1状況	も含む)      他に手段がない     他に手段がある(事務事業名・活動名)  名称						
		(4) 取組	1状況	も含む)  □ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名)  名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる						
		(4)取組	1状況	も含む)  □ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名)  名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる						
き課題と解決方法		<ul><li>④取組</li></ul>	1状況	も含む)  □ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名)  名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる						
	の計画	(4)取組	1状況	も含む)  □ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名)  名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる						
き課題と解決方法		(4)取組	1状況	も含む)  □ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名)  名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している						